

AAガイドライン

広報

英語版発行：ゼネラル・サービスオフィス(GSO)

日本語翻訳版発行：NPO 法人AA日本ゼネラルサービス(JSO) 東京都文京区大塚 3-28-7 林野会館 202

AAガイドラインは、さまざまなサービスの分野で活動するAAメンバーの経験の分かち合いをまとめたものである。また、このガイドラインには、12 の伝統と評議会(アメリカ/カナダ)の方針が盛り込まれている。主体性の伝統に従い、他のグループまたはAA全体に影響を及ぼす事柄を除いて、グループの決定のほとんどが、そのグループに属するメンバーの良心によってなされる。このガイドラインの目的は、十分に情報を伝えられたグループの良心が導き出される手助けをすることである。

*訳注 アメリカ/カナダのAAの実情に即した内容のため、必ずしも現在の日本のAAに適応するものではありません。

目的

すべてのAAに関する事柄と同様、広報サービスに関わるメンバーの本来の目的は、まだ苦しんでいるアルコール依存症者にメッセージを運ぶことである。地元の広報委員会メンバーは互いに協力し合い、マスメディアを含む一般社会へAAの情報を運んでいる。

歴史

1939 年に発行されたビッグブック『アルコール依存症・匿名性』は、一般の人たちが利用できる、AAに関する最初の情報源となった。1941 年までには、AAに関する記事が全国紙に数回掲載され、AAが理解され受け入れられる助けとなった。W・D・シルクワース博士やサム・シューメイカー師、ハリー・ティーボー博士といった専門家との良好な関係もまた大きな飛躍であった。

1956 年、常任理事会広報委員会が発足し、これに対応するように、1961 年に評議会広報委員会が設立された。評議会は、広報のための方針を以下のように定めた。

いかなる形の広報活動であれ、AAの唯一の目的は、まだ苦しんでいるアルコール依存症者を手助けすることである。彼らやこの問題に関心を持つ人たちに対して、匿名性の重要性を常に心にとどめながら、個人または共同体のレベルにおいて、アルコールなしの生きかたの経験を伝えていくことによってその目的が果たされるだろう。

心から関心を示すすべての人に対して、私たちの経験を存分に分かち合えるようにするべきである。さらにいえば、広報活動というのは、自分たちに与えられたソブリエティへの感謝が反映されたものであり、AAの外部でも多くの人たちが、アルコール依存症という深刻な問題に取り組んでいることを意識しておくべきである。

1973 年の評議会では、次のことが確認された。「私たちがアルコール依存症について話すときは、AAとAA

の回復のプログラムの範囲内にとどめることを、十分に認識しておかなければならない」

専門家との協力

1971 年の評議会において、専門家と協力する必要性が挙げられ、それに対応するために、評議会の中に独立した委員会を設けることが勧告された。これは現在、専門家協力委員会(CPC)として知られ、アルコールと関わる職業の人たちに、AAの情報をより効果的に伝えることを目的としている。地域によっては、CPCとPI(広報委員会)が個別に活動していたり、1つの委員会で2つのサービスを兼ねて活動している。

この2つの委員会は、AAの第一の目的の範囲内で活動すること、また競い合うものではないということが、共通認識として明確にされている。

地元の広報委員会

地域集会や地区、セントラルオフィス(インターグループ)に設置された広報委員会は、AAのサービス機関に対して行うサービスに責任を負っている。

始めるにあたって——広報委員会議長の名簿は、地域の記録係によって更新されるか、または、ゼネラルサービスオフィス(GSO)へ直接届け出ることができる。新しい議長には、GSO から歓迎の手紙と基本的な広報資料が送られ、BOX459(GSO 発行のニューズレター)の送付先リストに登録される。広報ワークブックはすべての議長に送られるが、それ以外のメンバーは購入するよう求められる。

広報に関する経験を知るために、地域や地方の他の委員と連絡を取り合うことは非常に有益である。GSO には、広報活動を扱うスタッフがいて、地元の委員会と連絡を取り合っている。

委員会メンバー——あらゆるサービス活動と同様に、広報活動に求められる資格はまず、安定したソブリエティである。委員会メンバー全員がAAのプログラムについて熟知していることや、共同体に関する矛盾のない正確な情報を伝えることができる必要がある。広報の経験は必要ない。

もっとも大切なことは、無名の原理をしっかりと把握し、それを含む 12 の伝統を理解していることである。これは、委員会メンバーが共に、基本的な広報資料を勉強することで高められる。

ある地域の広報委員会から以下のような報告があった。

「広報委員会を立ち上げるために開かれた地域集会のあと、関心を持ったメンバー数人が集まり話し合った結果、いくつかの地区の参加や、GSO の経験が必要だということに気がつきました。私たちは各々、地域のインターグループや GSO から、基本的な広報用パンフレットと広報ワークブックを購入しました。委員会は、『AA以外の会合で話をするには』や『アノニミティとは』のパンフレット、そしてサービス資料である『AA インフォメーション』や『広報ワークブック(仮称)』を読みながら話し合うことにしました」

「基本的な広報用パンフレットを一緒に読み進めていくうちに、学習ミーティングは盛り上がっていききました。新しいメンバーも加わり、やがて毎月の委員会の中で、各自が『予行演習(話す練習)』によるこんで参加するようになりました」

「『予行演習』は、プレゼンテーションを準備していた委員会メンバーが先導しました。私たちは特定の聴衆(たとえば、高校生や教会、会社のグループなど)の役をするように頼まれました。演習のあと、聴衆が抱きそうな質問をしました。その後、プレゼンテーションをより分かりやすくするために、愛情のこもった提案をして、予行演習を終えました」

「6か月後、地域社会に対して、AAがどのように役立つことができるかを伝えました。翌年には、学校を20校訪問し、7,300 人を超える人たちにAAの情報を分かち合うことができました」

人口がまばらであったり、広報サービスに携わるAAメンバーの数が少なかったりする地方では、定期的

な経験と情報の分かち合いは不可欠で、それらは電話や手紙で行われることもある。広報委員会が開かれる頻度は少なくとも、その目的は同じであり、AAサービス機関への案内と、そこへつなげる必要性は変わらないのである。

BOX459(ニューズレター)——GSO が発行する隔月刊のニューズレターには、広報活動に関する経験の分かち合いが掲載されており、広報委員会はそこから役に立つ情報を得ることができる。メッセージを運ぶ上でのAAサービスの経験の集積は、AA共同体にとって極めて価値のあるものである。GSO は、地域の広報委員会から寄せられる委員会活動や企画に関する分かち合いを歓迎しており、それらは共同体全体で分かち合われるだろう。

資金調達——ほとんどの場合、広報活動を行う費用は、委員会を支えるサービス機関へのグループ献金によって賄われている。そのサービス機関は、地域や地区、セントラルオフィス(インターグループ)、また、小さな地域においては、一つあるいは複数のAAグループということもある。

通常、委員会活動のための資金は、委員会が奉仕するAAサービス機関の「予算」の中に組み込まれ、広報にかかった支出は定期的に報告される。地域の図書館へビッグブックを寄贈するといった広報企画に対する特別予算が検討されることもある。

委員会の基本的な活動

以下は、委員会が行う極めて重要なサービスであるが、広報活動を支えるAAサービス機関のグループの良心によって、変更または拡充される。

広報訪問——訪問先として、学校、地元企業、教会、市民団体などが挙げられる。専門家協力委員会がないところでは、広報委員会が、聖職者、保健医療関係者、弁護士、教育者などの専門家と連絡を取るのがよいだろう。初めて連絡する相手の場合は、前もって簡潔な手紙を送るようにしている。そこには、自分たちがどのように役に立てるか、より詳しい情報が必要な場合はどこに連絡すればよいかが書かれてある。訪問する場合は、2名以上の委員会メンバーで行くのがよい。

AA出版物の配布や、簡単な説明またはAAビデオの上映を行うのもいいだろう。参加するAAメンバーは、この訪問に関する基本方針に同意していること、そして、『AA以外の会合で話をするには』と『アノニミティとは』の内容に精通していることが重要である。

覚えておくべきこと;

- ・ 最初に、公の場での個人のアノニミティの必要性について説明し、ファーストネームとAAメンバーであることを述べる。
- ・ 飲んでいたときのことを長々と話すのは避け、AAでの経験について、一般的で簡潔なものにする。良識あるユーモアを交えて話す。AAメンバーにとって笑える話でも、AAメンバー以外の人にとって愉快とは限らない。
- ・ 発言の内容は、AAの情報の範囲内に留めておく。AAメンバーとして話すとき、私たちは専門家ではないことを忘れてはならない。AA全体を代弁しようとしなない。
- ・ 専門家ではないので、治療や投薬、予防、支援、法律といったアルコールズムに関する一般的な情報も与えないようにする。
- ・ その場に適切であれば、『AA早分かり』や『AAの概要(仮称)』、『AAメンバーシップ・サーベイ』といった出版物を紹介したり、地元で開かれているオープン・ミーティングの情報を提供する。
- ・ 時間に遅れない。簡素できちんとした服装をする。第一印象が大切である。

パブリック・ミーティングと昼食会—— 一般の人向けに公開される、情報提供を目的としたミーティング

を主催する広報委員会もある。確実な成果を得るためには、事前の慎重な計画が大切である。

AAメッセージを運ぶ機会を広報委員会のメンバーに与えてくれたAA外部の人たちに、感謝の気持ちを表す方法の一つとして、謝恩昼食会がある。委員会はまた、AAを紹介するための特別な昼食会に、専門機関の代表者たちを招待している。簡単な説明の時間があってもいいが、大体はくつろいだ雰囲気の中で行われる。いずれの昼食会においても、席順は主催者とゲストが交互になるよう提案されている。そうすることで、AAの回復モデルを実際に目で見てもらうことができる。

AAブースにメンバーを配置する——地域で保健医療関連の催しがあるときには、多くの委員会がAAブースを設置しメンバーを配置している。催しへの参加案内は、地域の広報委員会に直接届くこともあれば、GSOの広報担当を経由することもある。参加することがAAの第一の目的に適っているかどうかを検討し、参加しない場合であっても、招待への感謝の気持ちを表すようにしている。

多くの場合、催しを主催する機関によって簡易的なテーブルが一つ用意され、2名かそれ以上の委員会メンバーがAAブースとして対応している。委員会メンバー全員がこの役割を担えるよう、輪番制にしている。

テーブルには、一般向けのAA出版物が主に並べられる。後日、GSOから情報を送ることができるよう、希望者の連絡先を控えておき、GSOに提供する。

これらのサービスを担う委員会に対してGSOは、経験を分かち合い、基本的な出版物(『AA早分かり』、『10代の若者たちへ』、最新版『メンバーシップ・サーベイ』、『AAの概要(仮称)』など)を提供する。イベントに必要な出版物の要請は、GSOがその準備と発送に3週間ほど要するため、考慮いただきたい。

メディアとの協力

AAは、出版、ラジオ、テレビの報道関係者たちとすばらしい関係を築いている。

アノニミティ——評議会の勧告決議により、GSOは、出版やラジオ、テレビの報道機関で働く人たちに、すべてのAAメンバーにとって必要な、公の場での個人のアノニミティの伝統について理解してもらうよう、毎年、数千通のアノニミティ・レターを送っている。広報委員会の中には、このアノニミティ・レターを地元で配ったり、地元のメディア業界へ手紙を送る際のレターヘッドに活用している。

地元のイベント案内——要望に応じて、AAコンベンションや地方フォーラムなどに関する情報を、地元の新聞社やコミュニティに提供するサポートをしている。

小規模コミュニティと他言語印刷物——公共サービスの案内ページや会報に、AAの情報を掲載してもらうよう依頼してもいいだろう。その際、掲載用のシンプルな記事を提供し、地元のAAの情報が提供できることを明記する。

評議会承認の公共広告(PSA)——ラジオ用、テレビ用共に、AAの情報を提供する一つの手段として、広く受け入れられている。

歴史的に、地元のラジオ局やテレビ局は、AAのような非営利団体の公共広告のために、無料の放送枠を提供してきた。公共広告のための放送時間を提供することが義務づけられなくなった現在でも、当該放送局は通常、よろこんで放送してくれることが多い。放送局で公共広告を扱う担当者とコンタクトをとることは、ほとんどの地域で可能だろう。

広告のデータ(PSA)を手渡すためのこのような訪問は、結果として、AAの情報、とりわけアノニミティや従属しない原理について理解してもらうことへと繋がっている。AAに関するラジオ放送やテレビで流す公共広告に移る際には、あらかじめ放送局に依頼して、「これから、アルコホーリクス・アノニマスの公共広告が入ります」とアナウンスしてもらうことも役に立つだろう。

ラジオやテレビ局との協力関係についてより詳しい情報が必要であれば、GSO宛に手紙か電話で次の

サービス資料を注文するとよい。『メッセージを運ぶために地元のラジオやテレビ局と協力するための提案（仮題）』

AAビデオ——評議会承認のビデオは出版物カタログに掲載されており、AAプログラムを視覚的に伝えるためのすばらしい方法である。PSAよりも多くの情報を含むビデオを好んで取り入れるテレビ局もある。『HOPE（ホープ）』や『若者とAA（仮題）』は、そのような目的に適っている。AAのビデオやPSAは、AAワールドサービス社の許可なくその内容を変更してはならないことに留意する。

ラジオやテレビへの出演依頼——こうした要請に関しては、以下の内容が保障されるよう、注意深い検討が必要である。

- a) メンバーのアノニミティが守られること。
- b) AAの第一の目的と12の伝統に沿った協力しかできないこと。

よい結果を生むためには、次の二つの提案が極めて重要だろう。

- 1) 広報委員会以外のグループの良心を導き出すために、出演依頼について、サービスに携わっている複数のAAメンバーと話し合う。
- 2) 出演依頼を引き受けることになったら、公の場でAAプログラムについて話す経験が多いメンバーに分ち合ってもらう。

この件について1969年の評議会で協議し、次の決議が承認された。「私たちは以下の要件が満たされなければ、ラジオやテレビ番組への出演を控えるべきである」

- a. 準備するための十分な時間が与えられていること。
- b. 出演することが、AAの目的に適っていること。
- c. 話の主題がAAにとって適切なものであり、犯罪や性的なこと、論争を生むもの、扇情的でないこと。
- d. アノニミティが保障されること。

出版物／ウェブサイトの活用

評議会承認出版物やAA資料のためのカタログには、このガイドラインで紹介している広報ワークブックやパンフレットなど、広報（と専門家協力）に特化した案内が掲載されている。

AAWS社のウェブサイト(www.aa.org)は、地元の委員会のために、「広報委員会」のページを設けている。「報道機関」のページは、メディアの人たちに紹介してもいいだろう。

また、GSOは、広報委員会が基本的なAA情報を一般用に大量購入するときために、広報用の割引パックを用意している。

AA出版物は、関係機関の担当者の協力のもと、公共スペースに設置されていることが多い。他にも、図書館や学校、移動図書館、教会の本棚、病院の読書室、書籍カートなどで取り扱われることもある。実際に役立った例として、広報委員会が図書館ネットワークと協力して、それぞれの分館に適切な設置場所を調べたり、補充したりしているところもある。その結果、小さく魅力的な展示スペースには、地元のAAミーティングの情報を得るための方法を掲示できるようになった。

以下は、広報委員会に役立つ出版物である。お得セットについては、GSOまで連絡いただきたい。

基本的な広報資料

委員会向け；

『広報ワークブック』（仮称）

AAガイドライン『広報』

AAガイドライン『インターネット』

『AA以外の会合で話をするには』
『アノニシティとは』
『あるメンバーから見た AA(仮称)』
『AAの概要(仮称)』
『AAファクト・ファイル(仮称)』(*日本では部分的に抜粋し、『AA日本広報資料』として発行)
『AAファクト・シート(仮称)』
『パブリックミーティング向けアノニシティの声明(仮称)』
『アノニシティカード(仮称)』
ニューズレター『BOX459』
『オンラインにおけるアノニシティ(仮称)』(サービス資料)
『AA ウェブサイトに関するよくある質問(仮称)』(サービス資料)

一般向け;

『AA早分かり』
『AAインフォメーション』
『10 代の若者たちへ』
『メンバーシップ・サーベイ』
『アルコール以外の問題』
AA序文カード(仮称)
AAメンバーシップ・サーベイ展示用(三脚つき)
『地域のAA(仮称)』
『聖職者からの質問(仮称)』
『関係機関の皆様へ—AAは皆様との協力を願っています』
『あなたの職場にアルコールの問題を抱えた人はいませんか』
『家族にアルコールがいたら』

案内カードと案内標示

これらは、最寄りのセントラルオフィスやグループ、AAの連絡先(地域の規模による)、あるいは、近くのミーティングの時間と場所を案内するのによく使われている。また、電話局や警察署、保安官事務所、病院、郡の救貧院、ホテル、タクシー乗り場などに長いあいだ設置されている。案内標示とは、バスや地下鉄の車内広告、道路標識や広告板(宿泊施設や公共施設に掲示してある「わが町へようこそ」などの看板)のようなものである。

電話帳とウェブサイト

地元の広報委員会が、電話帳(職業別電話帳を含む)にAAを掲載する役割を担うこともある。地元のAAサービス機関の多くが、ウェブサイトを開設して、地元で開催されているミーティングやイベントの情報を提供している。

広報委員会の分かち合い

広報について分かち合われた経験のうち、ある地区の広報委員会の目標を一覧にまとめた；

1. どの公共図書館にも必ず、少なくとも1冊は評議会承認出版物を設置するようにする。例えば、『ビッグブック』や『12のステップと12の伝統』、『どうやって飲まないでいるか』など。
2. 聴覚・視覚障害者へのアプローチの方法について、地元のAAに伝える。
3. 地区にあるすべての高校と大学、警察署、図書館、病院に書籍用のラックを設置させてもらい、その施設に適切な出版物とミーティング情報を補充する。
4. 高校宛に手紙を送り、AAを紹介するための訪問や出版物を提供する用意があることを伝える。
5. 地区にある療養所や保養所、老人ホームに手紙を送り、AAを紹介するための訪問や出版物を提供する用意があることを伝える。
6. 地元の新聞に、AAのオープンミーティングの情報を掲載してもらう。
7. 年末年始には、地元の新聞に簡単な記事を掲載してもらう。（有料の場合もある）
8. AAに関心を持ってもらうために新聞社と共に取り組む。
9. 地区内におけるAA以外の会合で話をする要請に応える。
10. ラジオやテレビ局にPSAを提供する。
11. すべてのホテルとモーテル、簡易宿泊所のフロントに、ミーティング一覧を置いてもらう。
12. 地区や州で開かれるAAセミナーやコンベンションに参加する。
13. これらを達成するために、AA内における無関心と取り組み、関心を持ってくれる人や協力者を得ること、そして何より、自分自身が最初一杯から遠ざかっていることが重要である。

AA共同体に十分な情報を伝える

広報(public information)の広(public)とは、AAメンバー以外の人たちを指しているが、AA共同体に対して十分な情報を伝え続ける協力もまた、自分たちの責任だと考える広報委員会は多い。

とりわけ、SNSに関連することなど、AAメンバーに対して12の伝統への幅広い理解を築くことも、広報の活動として多く見られる。この目的のために、しばしば特別ミーティングが開かれている。どの広報委員会も、広報における伝統11について、うまく説明している。ガイドライン『インターネット』やサービス資料『オンラインにおけるアノニミティ』が役立つだろう。

多くの広報委員会が、地域におけるすべての広報活動について、地元のメンバーに報告している。これは、広報のような計画的な活動に、地元グループの協力を得るための優れた方法である。情報は以下のような方法で広められる。

- ・ 定期刊行物である広報ニューズレターや、地元のAA機関紙の広報欄に、その年の広報活動計画の一覧を掲載する。広報のスピーカーを要請してきたAA外部の団体について載せる場合もある。
- ・ 地元のAAグループを訪問し、広報活動の概要について話す。
- ・ 地域集会やコンベンション、評議会、その他のAAの集まりで、広報ワークショップを開く。
- ・ 広報に関する特別ミーティングに、地元のAAグループのメンバーを招待する。
- ・ 広報委員会の協力のもと、テレビやラジオでAAが紹介される際には、事前に地元のグループに知らせておく。

GSO が運営する AA ウェブサイト

GSOが運営するAAウェブサイト(www.aa.org)は、英語とフランス語、スペイン語で利用できる。オンラインで利用できる資料についてはすでに紹介したが、その他に、地元の広報委員会の取り組みに役立つもので、ウェブサイトから利用できるものを以下に挙げる。

- ・ 評議会承認出版物パンフレット『AA にご用は?』『こちら AA』『10 代の若者たちへ』
- ・ アメリカ／カナダにあるセントラルオフィス、インターグループ、電話応答サービスの一覧
- ・ 世界のゼネラルサービスオフィスの一覧
- ・ メディア向けアノニミティレター
- ・ 専門家向けAAニューズレター
- ・ 専門家向けコンテンツ

GSOが運営するAAウェブサイトは、マスメディアや図書館の司書、学生といった、AAに関心がある人たちに広く活用されている。広報活動にもぜひ、役立たせていただきたい。

NPO 法人 AA日本ゼネラルサービス(JSO)

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-28-7 林野会館 202

Tel. 03-3590-5377

許可なく複写・複製・転載を禁じます